

入学式（４月９日（金）） 校長式辞

新しい春を迎え、私たちのふるさと、遠野の空はどこまでも青く、緑の山々はとても優しく、流れる川は清く、吹く風はさわやかです。

本日、ここ遠野高等学校では、新しい笑顔の花が咲いております。

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。私たち教職員はもちろん、二学年、三学年の生徒も含め、遠野高等学校全体で、皆さんを心から歓迎いたします。

保護者の皆様、お子様の御入学をお喜び申し上げます。まぶしいばかりに成長したお子様を目にし、さまざまなことが思い出されるのではないのでしょうか。

県議会、ＰＴＡ、部活動後援会、同窓会から御臨席を賜り、御来賓の皆様に厚く御礼申し上げます。また、日頃より、本校の教育活動への御理解と御協力について感謝申し上げます。

新入生の皆さんは伝統ある遠野高等学校の最後の入学生として、それを思うと万感の思いであり、胸にこみ上げてくるものがありますが、皆さんはここ遠野の学び舎で三年間学び、いわき湯本高等学校という新しい高校の卒業生として社会に旅立つこととなります。

伝統ある遠野高等学校から新しいいわき湯本高等学校へ。この二つの高校の歴史をつくるのは、皆さんの頑張りです。その自覚を持って、高校生活を充実したものにすることを期待しています。

新入生の皆さん、すばらしい三年間にしましょう。そのための魔法の言葉があります。ひらがなで五文字です。「あ」から始まって、「う」で終わる言葉です。

魔法の言葉とは、「ありがとう」です。「ありがとう」と言うと、心が明るくなり、笑顔になります。「ありがとう」と言われると、元気になり、やる気になります。

皆さんは、自分から「ありがとう」と言えますか。

周りの人から「ありがとう」と言ってもらえますか。

自分から「ありがとう」と言えるためには、いろいろな人にお世話になっているという謙虚な気持ち、感謝する心、「思いやりの心」を持つことが必要です。

周りの人から「ありがとう」と言ってもらえるためには、今までできなかった

ことをできるように「努力する力」、いろいろなことに挑戦する力が必要です。

「ありがとう」と言える。「ありがとう」と言ってもらえる。この二つのことができる人こそが、「自立」した人です。

これからの三年間で、「思いやりの心」を持ち、「努力する力」を身につけ、「自立」した人になり、輝く未来に向かって飛び立って欲しいと思います。

そうなれるように、私たち教職員が全力で応援します。

保護者の皆様、ご来賓の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

魔法の言葉「ありがとう」と言える人、「ありがとう」と言ってもらえる人になろう。

「思いやりの心」を持ち、「努力する力」を身につけ、「自立」できるようになろう。

一人一人の輝く未来に向かって、頑張れ、遠野校生。